

氏名 山際 敦 (中央区)

1. 新潟市の人口減少について

若い世代の首都圏への人口流出により、新潟市の人口は減少しています。人口流出に歯止めをかけるため新潟市は具体的に何をすべきであると考えられますか。

要旨

雇用の確保並びに労働環境の改善。

詳細

社会的人口減少の要因として、総務省の地方自治体へのアンケートでも雇用の問題が大きいことが指摘されている。

(<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h27/html/nc231120.html>)

人口流出対策として雇用の場の確保が急務であると考えます。大都市圏企業のBCP拠点誘致や正規雇用への市独自の助成制度を行う必要がある。また、働き続けられる職場環境を確保する観点からブラック企業対策を行う必要がある。労働問題に対する相談窓口の整備と労働組合やNPOとの連携強化、並びに労働法の啓発が必要である。

2. 若年層へ向けた政策について

18歳から30代の若年層に向けた政策についてお聞かせください。

要旨

キャリア構築支援及び事業承継支援

詳細

若年層が安定してキャリア構築できる場所を増やす必要がある。

若年層及び子育て世代が将来を見据えながら力を発揮でき、稼げる職場を呼び込み、育成する必要がある。

前段の質問の回答と被るが、企業誘致及び新規事業の支援の強化を行う。

また、高齢化により廃業を余儀なくされる中小企業や小売店などに対し、市が仲介に立ち後継ぎを紹介するシステム構築が必要である

事業承継の仲介やスモールM&Aを行う必要がある。

3. 若年層の政治への無関心について

若年層が政治離れする一番の理由として、誰がやっても変わらないという意見がありますが、どのように感じていますか。

要旨

ビジョンの提示及び声を受け止める必要性

詳細

かつてのイデオロギー対立の終焉以降、政治の側に分かりやすい将来を提示することが難しくなったことが政治への無関心に繋がっているように感じる。示す方向性を政治の側が発信することの必要性を感じる。一方、民主主義とは一人一人が政治に参画し続けることによるのみ成立し、様々な立場思想信条を纏め上げて形にしていくものである。

若年層へ「もっとモノを言っても良い、想いを声にして、例えどんな意見でも」と伝え続ける必要があると感じる。

4. 新潟市とSDGsについて

新潟青年会議所では本年度、私たちの考える明るい豊かな社会の実現のため、誰一人も取り残されない、持続可能な目標であるSDGsを推進していますが、SDGsの17項目のうちどの項目に力を入れて具体的にどのように取り組んでいきたいと考えますか。

要旨

12 つくる責任つかう責任

詳細

新潟は港町として発展してきた歴史がある。

これを活かすならば、国内の交流のみならず国際都市を目指すことが将来の新潟を考える上で重要であると考えます。

様々な国や地域から人、物流、情報を呼び込み、一方それを受け入れる土壌を作る必要があると考えます。

目標にある「2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする」を念頭に、NGOを始めとしたNPO団体の育成やフェアトレードシティ認定を目指す

5. 中原市長の10の基本政策に対してどのように考えていますか。

10の基本政策のうち一つ選択し、お書きください。

要旨

約束9 健全・健康なまち新潟

詳細

本市の財政再建は急務である。

公共施設の一人当たり面積が全国最大規模となり、維持運営経費が膨大なものとなっている。施設の稼働状況の精査、売却と民間への賃貸で過剰施設の収益化と行財政改革が必要であり、早期のプライマリバランス確保が必須である。